

第8回門真市生涯学習推進基本計画策定委員会 会議録

1. 日 時 平成 26 年 2 月 20 日（木）午後 3 時 00 分から午後 4 時 05 分まで
2. 会 場 門真市役所本館 1 階 第 5 会議室
3. 出席者（委員） 今西委員長、桂副委員長、宮本委員、石原委員、山田委員、清澤委員、岡本委員
（事務局） 三宅教育長、柴田生涯学習部長、山田生涯学習部次長、脊戸地域教育文化課長、
西山課長補佐、清水主任、藤田主査
コンサルタント 株式会社ユーエヌ土地利用研究所 中佐、中川
傍聴者 0 名
4. 議題 案件 1 …門真市生涯学習フォーラムについて（報告）
案件 2 …パブリックコメント手続の結果について
案件 3 …門真市生涯学習推進基本計画（案）について

事務局 それでは定刻となりましたので、第 8 回門真市生涯学習推進基本計画策定委員会を開会します。はじめに、お手元の資料の確認をお願いします。
まず、議事次第です。
次に、資料 1 「門真市生涯学習フォーラムアンケート集計結果」です。
次に、資料 2 「パブリックコメント手続結果」です。
次に、資料 3 「門真市生涯学習推進基本計画（案）」です。
追加資料として今西委員長の差し替えのあとがきをお配りしております。
それでは、以降の議事運営を今西委員長にお願いしたいと存じます。今西委員長
よろしくお願いいたします。

今西委員長 では、案件 1 「門真市生涯学習フォーラムについて（報告）」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 それでは、案件 1 「門真市生涯学習フォーラムについて（報告）」について説明いたします。資料 1 をご覧ください。平成 26 年 1 月 17 日、午後 6 時 30 分から門真市生涯学習フォーラムを開催いたしました。当日は 116 人の方にご来場いただき、約 7 割の方にアンケート調査回答のご協力をいただきました。参加者の傾向としましては、男女各 5 割、年代別では 20・30 歳代で 2 割、40・50 歳代で 3 割、60・70 歳代で 4 割となっておりました。居住地別では、門真市の方が若干多いですが、門真市外の方も同じくらい参加されておりました。職業別では、一番多かったのが公務員で、ほかに無職の方が 2 割ほどおられました。「問 5 フォーラムの内容についての評価」について、82.9%の人が「大変良かった」「よかった」と回答されており、高評価だったのではないかと感じております。自由意見につきましては、「生涯学習の認知度が上がった」「パネリストが良かった」というご意見があり、生涯学習の認知度を上げる事が今回の目的のひとつでもあ

りましたので、成果が得られたのではないかと思います。「問7 市の生涯学習の推進についての意見」については、きっかけづくり、環境づくり、機会づくり、PR、仕掛けづくりなど、様々な言葉で書かれておりました。具体的な方策として「出前フォーラムを開催してほしい」「市民プラザでもフォーラムを開催してほしい」などの個別の要望もありました。以上、「アンケート集計結果」でございました。当日の様子は撮影しており、DVDを地域教育文化課に提供いたしましたので、ご覧になりたい方はお声をかけていただけたらと思います。以上で、案件1「門真市生涯学習フォーラムについて（報告）」を終わらせていただきます。

今西委員長 案件1「門真市生涯学習フォーラムについて（報告）」をご説明いただきました。ご質問やご意見ございませんか。

石原委員 私も参加させていただきましたが、「門真というまちがすごく変わっていく気がした」というご意見をたくさんいただきました。時間的なものもあったので、個人的には今西委員長のお話をもっと聞きたかったです。

今西委員長 他に何かございませんか。それでは、次に案件2「パブリックコメント手続結果」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 それでは、案件2「パブリックコメント手続結果」について、説明させていただきます。資料2をご覧ください。この度、門真市生涯学習推進基本計画の素案がまとまりましたので、1月10日（金）から2月4日（火）まで市ホームページや市内施設等で生涯学習推進基本計画の素案を公表し、パブリックコメント手続による意見の募集を行いました。いただきましたご意見は合計2件で、資料2の2、3枚目に意見の概要と回答をまとめさせていただきました。まず一人目の「パブリックコメントとは何ですか。」というご質問に対し、パブリックコメントについての説明を回答させていただいております。「パブリックコメント手続により提出された意見は後日公表しますか。」というご質問に対し、「3月10日から4月7日まで公表する。」と回答しております。「市の計画等については、広報かどまに掲載し、広く意見を募集した方が良くはないでしょうか。」というご質問に対し、「紙面に限りがありますが、簡潔にわかりやすく市民の皆様に提供できるよう努めてまいります。」と回答しております。「計画の期間が10年間となっていますが、計画倒れにならないようにする必要があるのではないのでしょうか。」というご質問に対し、「計画は10年間としておりますが、当然ながら進行管理を行い随時見直し、生涯学習推進のための庁内体制をつくり、基本施策の確実な推進を図っていきます。」と回答しており、事務局としましては、素案どおり計画期間は10年間とすることを考えております。次に、二人目のご質問が三つございます。「子育て世代は忙しいので親子で楽しめるほか、高齢者と

の世代間交流も図れると思います。」というご質問に対し、「生涯学習は、その名のとおりに幅広いもので子どもを軸にそのきっかけづくりをという意見を踏まえて世代間交流も視野に推進してまいります。」と回答しております。「生涯学習認知度の向上のために、ゆるキャラをつくるのはいかがでしょうか。」というご質問に対し、「本市のマスコットキャラクター「ガラスケ」や、生涯学習のマスコットとして文部科学省の依頼によりデザインされ、国やいろいろな地方自治体の啓発活動で広く採用されている「マナビィ」というキャラクターの活用などを検討します。」と回答しております。最後に、「おもしろいといえば寄席。生涯学習についてわかりやすく説明すれば興味をもってもらえるのではないのでしょうか。」というご質問に対し、「ご提案の落語も含め、生涯学習活動が身近なものである事を認識でき、興味が持てるような工夫を検討していきます。」と回答しております。門真市としてどういう事を考え、どういう方向で検討していくかをまず書かせていただきました。この公表につきましては3月10日から市のホームページなどで行いたいと思います。以上で、案件2「パブリックコメント手続結果」について説明を終わります。

今西委員長 ありがとうございます。パブリックコメントでご意見がある事は嬉しく思います。ご質問やご意見ございませんか。

桂副委員長 フォーラムのアンケート結果で50・60歳代が全体の50%参加され、パブリックコメントでも非常に良い意見が書かれてありました。予算は若い世代の方や子どもの教育のために使っていただき、60歳代など高齢の方々には自らお金をかけなくともできることをすると市民が考えていらっしゃると思われます。他市でも市民大学などでシニアを対象にいろいろしておられますので、どんどん活用していけば良いと思います。これからは「健康」という言葉がキーワードになってくると思いますし、展望が見えているように思いました。

今西委員長 最近の市民大学は、行政のことを知ることにより地域の問題を解決していく、まちづくり大学みたいなものが出てきています。出前講座という形で行政の方々が地域に出ていき、まちの課題・問題を説明するといったものがあります。もう一つは、レベルの高いものを含め、ある種の特化したものに関する研修的な市民大学で、大学のご協力によりエキスパートの先生に来ていただくなど、市民大学の多様性が出てきています。今後、研究していただき、まちの活動のためにもぜひ考えていただきたいと思います。桂副委員長のお話を聞いておりました。

宮本委員 ある一定の予算の中で、その予算をどのように使用すれば良いかということを考え、これから門真市を担う若い人たちに多く予算を使っていただくのが良いと思います。

今西委員長 計画期間の問題があります。10 年間は長いので中間のチェックや進行管理の問題もあります。どのように進行管理を行おうと考えていますか。

事務局 進行計画の方法につきましては、具体的には決めておりません。今後、検討しなければならない課題のひとつだと考えております。

今西委員長 パブリックコメントにも意見が出ておりますので、これから考えていただきたいと思います。他に何かございませんか。それでは、次に案件 3「門真市生涯学習推進基本計画（案）」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局
（ユウエヌ） それでは、案件 3「門真市生涯学習推進基本計画（案）」について、説明させていただきます。資料 3 をご覧ください。前回の策定委員会と大きなところは変わっておりません。誤字や言葉の修正のほか、写真については大幅に追加、差し替えをしております。確認事項も含め、変更した部分について簡単に説明させていただきます。表紙ですが「門真市教育委員会」となっており、「はじめに」の言葉は三宅教育長の言葉となっております。第 1 章から第 3 章までは写真の追加、差し替え以外、内容は変わっておりません。第 4 章の基本理念「みんなでつくろう！おもしろいまち・おもしろいまち門真！」と両方に「まち」をつけて並列にし、「おもしろい」のあとに「まち」を追加いたしました。第 5 章は前回と同様、6 つの計画の柱がございまして、それぞれの柱について「現状と課題」「施策展開の方向」「基本施策」とまとめており、門真市で身近に、実際にされている事例を示しながら施策を組み立てていく構成にしております。あわせて市民の方々にも読んでいただくに際し、写真やコラムを視覚的に見やすくするために入れさせていただきました。「大学との連携」では、「大阪樟蔭女子大学」とも連携協定を結ばれたので大学名を追加しております。策定委員会委員以外の方のコラムも追加し、P.51 では第 5 章のまとめとして「施策の体系のまとめ」を入れております。資料 3「門真市生涯学習推進基本計画の策定の経過」では、前回の委員会から本日までの分を追加しております。最後の「あとがき」について、今西委員長にご無理を言いまして少し文章を増やして頂き、今西委員長と桂副委員長、お二人の「あとがき」が入っております。以上で、案件 3「門真市生涯学習推進基本計画（案）」について説明を終わります。

今西委員長 案件 3「門真市生涯学習推進基本計画（案）」をご説明いただきました。ご質問やご意見ございませんか。

石原委員 「通学合宿」は、野外活動ができない中で子どもたちがこのような事をする事は大事なことです。あと今西委員長、桂副委員長の「あとがき」につい

ては、生涯学習についてわかりやすい言葉で書かれておりました。この内容も含めて、改めて策定委員会の中で学ばせていただいたことがたくさんあったと感じました。

桂副委員長 「あとがき」については今西委員長だけで良いと思っておりましたので、このような形になってしまいましたが、皆様にご意見いただいてから文章を修正しようと思っておりました。「あとがき」の文章で「おもしろい・おもしろいまち門真！」の「おもしろい」の後にも「まち」を入れていただくよう修正よろしく願いいたします。

宮本委員 最近、「かどまムービーチャンネル」というものをホームページで見ました。やはり動画があると良いと思います。ITで市民の皆様に知らせていくことはとても良いことだと思いました。基本理念の「みんなでつくろう！おもしろいまち・おもしろいまち門真！」のフレーズは個人的にとっても気に入っております。

清澤委員 とてもよくまとまっていると思います。内容が基本計画なのである程度このような形におさまらなくてはいけないと思うのですが、果たして何年後にどういうことができるのか、実際実施できるのかなど、実施時期や予算について、先の方向性を少し見たいと思いました。基本的にはこれで良いと思うのですが、3年後にはこのような形、5年後にはこのような形と、今後の流れや展開として何か具体的な資料をつけていただけると、展望を市民に抱かせるようなものであるとありがたいと思います。

岡本委員 今回、かなり勉強させていただきありがたく思っております。補章が素人でも非常にわかりやすくまとめてあると思います。一目で見てわかるので、基本理念の「みんなでつくろう！おもしろいまち・おもしろいまち門真！」と、補章を書いたポスターを作成し、門真市の施設に貼ってはいかがでしょうか。

石原委員 最近、病院に行った時に60歳の定年退職された方で子どもに手作りのおもちゃを差し上げている方がおられました。その方とお話をしたのですが、お一人で保育所、幼稚園に行かれ、おもちゃを差し上げているそうなのですが、岡本委員がおっしゃったポスター的なもので、一人でするのではなく、どこかでつながりあえる組織があることを知らせるきっかけになるのならば、ポスターを作成することも良いと思いました。

山田委員 写真がたくさん入ったことによって見やすくなったと思います。私はスポーツ推進委員と総合型地域スポーツクラブに携わっておりますので、スポーツレクリエーション活動の機会充実という部分が気になっていましたが、非常に良くつく

ってくださったと思います。26 年度は毎月第 3 土曜日に障がい者のスポーツをしていく計画ができたのも、生涯学習推進基本計画策定がきっかけだと思っています。大変良い場を与えてくださり、ありがたく思いました。

桂副委員長 60 歳代になると時間的に余裕ができ、時間を自分以外の人にどれだけ使うかを大事に思う方が増えています。お話にあったような個人でボランティアをされている人が、市や市外のいろいろなところでネットワークを組まれて活動していけたら良いと思います。障がい者スポーツも現状では出てこられる方が少なく、障がい者福祉とスポーツ振興の担当セクションが違うことにより、行政の担当に尋ねてもどこで何をしているのかわからないことが多いので、行政の方々が幅広く知り、タグを組んで拡げていただきたいと思います。特に参加、活動できるのは 60 歳代の人だと思います。仕掛けがないと出てこられないので、行政側から仕掛けて、10 年後ではなく 2～3 年後にはこうなっているという計画を立てられることを期待しています。

今西委員長 「みんなでつくろう！おもしろいまち・おもしろいまち門真！」という合言葉は使わないとつくただけに終わってしまいますので、できるだけたくさん使っていただくようお願いいたします。「何かあったらそうしよう、みんなでつくろう、おもしろいまちにしよう！」とぜひ呼びかけをしていただきたいと思います。教育長が「これからの社会は分化と総合化が進む」という趣旨のことをお書きになっておられますが、その中で生涯学習がバランスよく推進されることを願っております。この計画が大きな柱となるのは確信しており、何かあった時は、元に戻った上で、具体的に何をするのか考えていただきたいと思います。最後に要望と確認ですが、写真がたくさん入っておりますが肖像権の再確認をよろしく願いいたします。要望として、リーフレットはできるのでしょうか。できるのであればほしいと思います。もちろんすべてインターネット上に載せ、検索できるようにしていただけると良いと思います。他に言い残したことやご質問などはございませんでしょうか。

清澤委員 基本計画ができて、実際どう進められますか。簡単に見通しをお聞かせ願いたいです。

事務局 生涯学習基本計画では、市民の方の生涯学習活動を支援するため、我々行政が施設の整備、まなびや発表の機会づくりなどを提供していくことを示しております。これまでも実際に多くのことをしてきましたが、これからは、この計画に基づき実施し、施策は予算と同時に市民の皆様にお示ししていきます。しかし、我々に想いがあっても、予算があつての話なので、いつまでにといいお約束はしかねる点がございます。実現に向かって取り組まねばならない課題が多くあります

が、我々ができる部分と市民の皆様にしていただきたい部分、実現に向けて動いていなければいけない部分といろいろとあると思いますので、市で実現できることは、適切なタイミングで市民の皆様にお示ししたいと思います。また、策定した以上は市民の皆様に見てご理解いただき、基本施策を進めていきたいと思えます。すぐ実現できるものとして、総合型地域スポーツクラブと共にスポーツを推進していくことや新体育館の建設計画、その先には生涯学習複合施設の建設計画もあります。どういう拠点にし、どういうことができるのかという点はこれからの課題だと思っております。またその時には、先生方のご意見をお伺いしながら進めていきたいと思えますので、ご協力よろしくお願いいたします。

清澤委員 私や市民が行政に期待しますのは、新体育館や既存施設の改善や整備といった場づくり、費用的な面でもサポートがあればありがたいですし、人をまとめる仕掛けづくりも期待しております。

事務局 先日、久留米の体育館と広島図書館を見学したのですが、広島図書館は産業振興、職業体験など職業関係のコーナーづくりに積極的に取り組んでいました。門真市立図書館でも健康増進や闘病記のコーナーをつくっており、これからは子育ての分野も教育委員会に加わりますので、横のつながりをもっていきたいと考えております。スポーツ振興では障がい者スポーツ、NPOを媒体にして、来年から生涯学習と何かひとつのテーマを組み合わせることも考えておりますので、他市と見比べながら取り組んでいきたいと思っておりますので、ご指導よろしくお願いいたします。

今西委員長 門真市も財政的に厳しい時期があったとお聞きしております。ようやくその時期が過ぎ、少しずつ良くなってきておりますが、その中で精一杯、行政としての支援をお願いしたいと思えます。教育行政は支援性に重点を置かれている一方、教育という言葉にはもともと指導するという意味があり、積極的な実施作業もあるわけで、支援と実施と矛盾しますが、この二つをうまく噛み合わせてしていただきたいと思えます。みんながひとつになって、みんなでつくることを大事にしながらこのまちが発展していく事を願っています。以上で推進基本計画の審議を終わりたいと思えます。本日の案件はすべて終了いたしました。案件以外で何かご意見やご要望、情報提供はございませんか。

事務局 策定委員会につきましては、本日で最後となっております。結びといたしまして三宅教育長より委員の皆様方にお礼を申し上げたいと存じます。

三宅教育長 失礼いたします。お礼のご挨拶を申し上げたいと思えます。振り返って5月21日に第1回目の委員会を開かせていただき、緊張しながらご挨拶をさせてい

いただきましたことを思い出しております。生涯学習部長などから進展具合をその都度聞いておりましたが、門真市は「自律発展都市」を掲げ、市民自らがいろいろと考え、公民協働により行政と共に一緒にやっていくことを基本的な理念としております。生涯学習推進基本計画が、正にこの理念に乗っ取った形で進んだことを本当にうれしく思っております。また、皆様には新体育館、生涯学習複合施設の基本構想、基本計画についても委員としてご活躍いただきましたことについても重ねてお礼申し上げます。今西委員長、桂副委員長につきましては、この生涯学習推進基本計画策定委員会を導いていただいたことについて本当に感謝しております。ありがとうございました。また、職員も市民の皆様も一緒になって生涯学習について学んだことは、公民協働のひとつの形であると思います。この道のりについても、多くのことを学んでもらえたのではないかと思います。本日のお話の中で、生涯学習フォーラムの話がありましたが、私も参加させていただきました。パネラーの皆様のお話が大変良かった一方、アンケートの中には「おもしろいまち・おもしろいまち」の意味がわからないというご意見もございました。少し考えていただいたら「おもしろいまち」をどうやってつくっていくかということにつながっていくのではないかと思います。アンケートを読ませていただきました。中には「はっきりとよくわかった」というご意見、特に今西委員長の話が良かったというご意見もありました。私個人としては、石原委員に具体的な話をしていただき、門真の中で生涯学習が今から始まるのではなく、実際もう既に行われていることなど、すばらしいお話をしてくださったと思っております。ありがとうございました。最後に、基本計画をどのように実施していくのかのお話があったと思いますが、基本計画をどのように事業として落とし込んでいくのかが一番の課題だと考えております。先生方のお話を聞きながら、実は実際進んでいる部分もたくさんあり、こういう事に対してはこういう風にやっついこうと既に考えながら動いています。基本計画の案を読ませていただきましたが、写真の入っている部分は実際にいろいろしており、「通学合宿」は学校支援地域本部が実施していますが、皆様よく取り組んでおられ、学校教育の方では「学力向上」で退職教員がNPO法人門真っ子で活動されていらっしゃいます。このように、すでに行われているものを位置づけながら全体の方向性を定めており、この計画が良くできていると思いました。概要を見た時に基本計画としてきちんとできているのですが、「おもしろいまち・おもしろいまち門真！」の部分だけが浮いてしまっていて、どうにもならないものかと思ったこともありました。しかし逆にそこに話題性をもち、市民と共に一緒に考えていくことのきっかけづくりにできるところだろうと考えております。先生方一人ひとりのご意見をうかがいながら、一生懸命に考えていただいている事がわかり、この基本計画をどのように事業に落とし込んでいくのかが我々に課せられた課題で、生涯学習だけではできないというご指摘のとおり、市が一体となって取り組んでいかなければならないと思います。このことにつきましては、今西委員長が以前庁内で研修会をしてい

ただき、着々とその方向に進んでいこうと感じております。事務局の先を見据えた動きを高く評価をしており、具体的に実施していく形にもっていければ良いと思っております。予算の都合などで、我々が構想したよりも遅れてしまうこともあります。計画をしっかり立て、庁内で検討しながら着実に進めていきますので、ご支援、ご協力をお願いしたいと思います。本当に長い間ありがとうございました。今後とも益々のご活躍をされると同時に、健康にも気をつけていただきたく思います。最後に教育委員会を代表してお礼を申し上げます。

事務局

それでは、以上で第8回門真市生涯学習推進基本計画策定委員会を閉会させていただきます。委員の方々には本当にありがとうございました。